

(様式①)

事業計画書目次

[資源循環局]

9款1項2目

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和4年度		令和3年度		増△減(4-3)		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
7	分別・リサイクル推進事業	1,797,985	1,640,445	1,733,004	1,635,926	64,981	4,519	
8	資源選別施設管理運営事業	2,196,815	367,694	2,089,257	524,340	107,558	△ 156,646	
9	3R広報啓発事業	9,071	8,491	8,662	8,562	409	△ 71	
10	市役所ごみゼロ推進事業	172,561	0	158,418	0	14,143	0	
11	発生抑制等推進事業	24,907	24,907	31,046	25,546	△ 6,139	△ 639	
12	環境事業推進委員等事業	22,904	22,904	20,894	20,894	2,010	2,010	
13	資源集団回収促進事業	1,059,980	1,059,947	814,381	814,337	245,599	245,610	
14	許可業者等指導事業	430	3	627	△ 430	△ 197	433	
15	事業系ごみ適正処理・減量化推進事業	7,584	7,571	7,491	7,479	93	92	
16	事業系ごみ適正搬入推進事業	38,800	38,702	39,915	39,814	△ 1,115	△ 1,112	
17	資源化施設基幹改修事業	72,865	72,865	80,865	80,865	△ 8,000	△ 8,000	
18	国際協力事業	3,437	3,437	3,819	3,819	△ 382	△ 382	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
	計	5,407,339	3,246,966	4,988,379	3,161,152	418,960	85,814	

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	業務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	9-1-2 1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		2	目		
歳出予算科目	一般会計	9 款	1 項			
事業名称	分別・リサイクル推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,797,985			157,540		1,640,445
補助事業 単独事業						0
令和3年度	1,733,004	0	0	97,078	0	1,635,926
増△減	64,981	0	0	60,462	0	4,519

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	1,803,784	1,721,503	1,675,531	1,797,985	1,797,985	1,797,985
決算	1,600,625	1,629,858	1,560,803	1,640,445	1,640,445	1,640,445
決算	1,711,953	1,706,078	1,677,195			
決算	1,647,297	1,665,863	1,633,358			

事業概要	分別収集された資源物の中間処理、再資源化を実施することで、ごみの減量・リサイクルを推進します。							
事業開始年度	平成17年度							
根拠法令・方針決裁等	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例・規則 ・一般廃棄物処理実施計画 ・容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律 ・特定家庭用機器再商品化法 ・使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律 ・水銀による環境の汚染の防止に関する法律 							
事業目的・効果 (必要性)	<p>①分別品目再資源化事業 分別収集された「プラスチック製容器包装」「スプレー缶」「蛍光灯」「乾電池」「燃えないごみ」「水銀含有製品」について、中間処理及び再資源化を委託により実施します。「小さな金属類」「古紙」「古布」「スプレー缶」「小型家電」を売却し資源化します。 家庭から排出された資源物の売却や資源化等を実施することにより、ごみの減量化やエネルギーの有効活用、環境負荷の更なる低減を図ります。</p> <p>②ストックヤード管理事務 ストックヤードの修繕や計量器の点検等を行うことで、資源物の管理、引渡しを円滑に実施し、資源の有効な利用を促進します。</p> <p>③分別排出推進事業 分別ルールを守ってもらえるよう、ごみと資源物の分け方・出し方のパンフレット及びリーフレットの配布や排出指導を行うことで市民の分別意識の定着を促します。</p> <p>④事務費 再資源化処理施設への履行確認等を実施し、市民が分別した資源物のリサイクル状況について確認します。 家電リサイクル法対象品目の回収が円滑に行われるよう、横浜家電リサイクル推進協議会の行政会員として、会員費を負担します。</p>							
根拠・データ等	<p>資源化量の合計 (t)</p> <p>令和元年度：57,680</p> <p>令和2年度：60,434</p> <p>令和3年度(見込み)：59,829</p> <p>令和4年度(見込み)：59,713</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
資源物の処理	単位	目標	適切な処理	適切な処理	適切な処理	適切な処理	適切な処理	適切な処理
	-	実績	達成	達成				
事業スケジュール	<p>平成17年 10分別15品目に基づく分別収集全市実施</p> <p>平成20年 分別ルールを守らない市民に対する罰則制度の適用開始</p> <p>平成25年 小型家電の回収開始</p> <p>平成29年 水銀式の体温計・血圧計・温度計の回収開始</p> <p>平成30年 ガラス・陶磁器類のリサイクル開始</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	分別品目再資源化事業	1,785,451	1,720,978	64,473
②	ストックヤード管理事業	5,296	4,774	522	隔年検査による計量機点検箇所数の増
③	分別排出推進事業	4,941	4,991	▲50	在庫活用による印刷製本費の減
④	事務費	2,297	2,261	36	ETC使用料の増
	細事業合計	1,797,985	1,733,004	64,981	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化係
	澤田 亮仁	鈴木 昭則	武野 愛里沙

令和 4年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	施設課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	9-1-2 2
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	9 款	1 項	2 目		
事業名称	資源選別施設管理運営事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	財産収入	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	2,196,815			757	1,828,364		367,694
補助事業 単独事業							0 0
令和3年度	2,089,257			1,003	1,563,914		524,340
増△減	107,558	0	0	△ 246	264,450	0	△ 156,646

歳出	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	事業費	市債+一般財源	計															
事業費	1,954,894		1,954,894	1,958,559		1,958,559	2,052,219		2,052,219	2,196,815		2,196,815	2,196,815		2,196,815	2,196,815		2,196,815
市債+一般財源	522,359		522,359	447,865		447,865	583,092		583,092	367,694		367,694	367,694		367,694	367,694		367,694
事業費	1,941,901		1,941,901	1,960,124		1,960,124	2,066,421		2,066,421									
市債+一般財源	628,003		628,003	798,717		798,717	1,031,895		1,031,895									

事業概要	市民から分別収集した缶・びん・ペットボトルなどの資源物を選別する施設（市内4箇所）の管理運営を行い、資源物の適正処理と資源化を図ります。								
事業開始年度	平成12年度								
根拠法令・方針決裁等	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律 横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例								
事業目的・効果 (必要性)	(1) 資源選別施設の管理運営を委託により実施し、分別収集した缶・びん・ペットボトルを「アルミ缶」、「スチール缶」、「無色ガラス」、「茶色ガラス」、「その他色ガラス」、「ペットボトル」に選別し、資源化に繋げます。 (2) 選別作業で発生した「ガラス残さ」、「その他色ガラス」について、再資源化を委託により実施します。 (3) 選別処理した「アルミ缶」、「スチール缶」、「ガラスびん（無色・茶色）」を資源再生事業者に売却します。また、環境省令に定める分別基準に適合するよう処理した「ペットボトル」と「その他色ガラス」を国指定法人に引き渡します。 (4) 資源選別施設で選別した可燃物（一般廃棄物）を委託により、工場に搬入し、適正に処理します。 (5) 資源物の収集と資源化を安定的に継続して行うことで、市民の生活環境を良好な状態で維持します。 (6) 資源選別施設管理運営費の削減、施設の耐用年数などを踏まえ、新選別施設整備に向けた調査を実施します。								
根拠・データ等	【資源化実績】 <アルミ缶> H30年度_ 4,657 t / R元年度_ 4,863 t / R2年度_ 5,647 t / R3年度_ 5,849 t (見込) / R4年度_ 5,845 t (見込) <スチール缶> H30年度_ 3,891 t / R元年度_ 3,807 t / R2年度_ 4,081 t / R3年度_ 4,248 t (見込) / R4年度_ 3,811 t (見込) <無色・茶色びん> H30年度_ 14,913 t / R元年度_ 14,105 t / R2年度_ 14,516 t / R3年度_ 14,391 t (見込) / R4年度_ 13,863 t (見込) <その他色ガラス> H30年度_ 5,463 t / R元年度_ 5,429 t / R2年度_ 6,021 t / R3年度_ 5,687 t (見込) / R4年度_ 5,638 t (見込) <ペットボトル> H30年度_ 12,858 t / R元年度_ 13,094 t / R2年度_ 14,077 t / R3年度_ 13,334 t (見込) / R4年度_ 13,344 t (見込) <ガラス残さ> H30年度_ 4,213 t / R元年度_ 4,354 t / R2年度_ 4,907 t / R3年度_ 4,355 t (見込) / R4年度_ 5,417 t (見込)								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
法令に適したリサイクル推進	単位	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	-	実績	達成	達成					
資源化量の合計	単位	目標	-	-	-	-	-	-	-
	t	実績	45,652	49,249					
事業スケジュール	平成2年12月 資源ごみ分別収集モデル事業開始（旭区、緑区） 平成3年10月 資源ごみ分別収集モデル事業拡大（旭区、緑区、南区、港南区、磯子区） 平成5年3月 缶・びん分別収集を市内30%で本格実施 北部資源選別センター開設 平成6年10月 缶・びん分別収集を市内45%で実施 平成7年7月 北部資源選別センターを緑資源選別センターとする 戸塚資源選別センター開設 9月 鶴見資源化センター開設 平成10年3月 緑資源選別センターB棟開設 平成11年2月 ペットボトル分別収集開始（緑区、青葉区、都筑区） 平成12年2月 ペットボトル分別収集地域を拡大（港南区、戸塚区、栄区、泉区で開始し7区で実施） 平成13年2月 ペットボトル分別収集地域を拡大（鶴見区、神奈川区、西区、中区で開始し11区で実施） 平成14年3月 金沢資源選別センター開設 ペットボトル分別収集全市実施								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	資源選別施設管理運営事業	2,196,815	2,089,257	107,558
	細事業合計	2,196,815	2,089,257	107,558	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	管理係
	生井 秀一	佐久間 徹也	山田 幸恵

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	3 R 推進課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	9-1-2 3
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
歳出予算科目	一般会計	9	款	1	項	2	目	
事業名称	3 R 広報啓発事業							

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	9,071			580		8,491
補助事業 単独事業						0
令和3年度	8,662			100		8,562
増△減	409	0	0	480	0	△ 71

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	28,578	37,015	33,412	9,071	9,071	9,071
	市債+一般財源	27,172	26,915	27,812	8,491	8,491	8,491
決算	事業費	26,214	26,310	20,318			
	市債+一般財源	25,754	26,210	20,138			

事業概要	リデュース・リユース・リサイクルの3Rを推進し、環境負荷を低減するライフスタイルへの転換を図るため、広報・啓発を通じて、市民・事業者の実践行動を推進します。							
事業開始年度	平成5年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市一般廃棄物処理基本計画							
事業目的・効果 (必要性)	横浜市一般廃棄物処理基本計画では、ごみと資源の総量を2025年度までに10%以上削減することを目標としています。(2009年度比) また、世界共通の課題である地球温暖化問題に対応するため、収集・運搬、処理・処分の全ての段階において、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。 横浜らしい循環型社会の実現に向け、一人ひとりに自主的で自分らしい3R行動を実践してもらえよう、取組を進めています。 環境負荷の更なる低減を図り、豊かな環境を後世に引き継ぐことで、子どもたちが将来に「夢」を持つことのできるまち・横浜の実現を目指します。							
根拠・データ等	ごみと資源の総量(単位：トン) <総量> 平成30年度：1,194,725 / 令和元年度：1,220,597 / 令和2年度：1,200,410 <家庭系> 平成30年度：835,445 / 令和元年度：844,235 / 令和2年度：864,876							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
出前講座等の 実施回数	単位	目標	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
	回	実績	1,410	384				
事業スケジュール	平成5年 ポスターコンクール開始 平成7年 環境学習副読本開始 平成23年 横浜F・マリノス 広報大使就任 Mictionary 運用開始 平成24年 横浜市ごみ分別アプリ 導入 平成30年 イーオのごみ分別案内(チャットボット)運用開始 令和4年 イーオのごみ分別案内多言語化システム構築 令和5年 イーオのごみ分別案内多言語化運用開始							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	広報啓発事業	8,053	7,692	361
②	事務費	1,018	970	48	通信回線契約による増
細事業合計		9,071	8,662	409	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	津島 邦宏	石川 洋子	小黒 康恵

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	一般廃棄物対策課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	9-1-2 4
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
歳出予算科目	一般会計	9 款	1 項	2 目			
事業名称	市役所ごみゼロ推進事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	172,561			172,561		0
補助事業 単独事業						0
令和3年度	158,418			158,418		0
増△減	14,143	0	0	14,143	0	0

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	90,510	91,542	114,707	172,566	172,566	172,566
	市債+一般財源	0	0	0	0	0	0
決算	事業費	88,045	99,591	120,687			
	市債+一般財源	△ 19	20	87			

事業概要	横浜市が一事業者としての責務を果たし、行政の立場から「横浜市一般廃棄物処理基本計画」を進めるため、市の施設から出るごみの適正処理や減量化に努めることで、率先して3R行動に取り組む。								
事業開始年度	平成15年度								
根拠法令・方針決裁等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
事業目的・効果 (必要性)	本市の全職場で職員一人ひとりがごみの減量・分別リサイクルに取り組む「市役所ごみゼロ」を推進し、横浜市が一事業者としての責務を果たし、行政の立場から「横浜市一般廃棄物処理基本計画」を進める。								
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ルート回収 総排出量 平成30年度：8,963トン、令和元年度：9,082トン、令和2年度：7,949トン ルート回収 参加施設 平成30年度：1,290施設、令和元年度：1,284施設、令和2年度：1,268施設 								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
ルート回収 総排出量	単位	目標	8,456	8,412	8,366	8,321	8,276	8,230	8,185
	トン	実績	9,082	7,949					
ルート回収 参加施設	単位	目標	1,284	1,268	1,262	1,262	1,262	1,262	1,262
	施設	実績	1,284	1,268					
事業スケジュール	平成15年度：事業開始								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	市役所ごみゼロルート回収	172,561	158,418	14,143	労務単価改定等による増
細事業合計		172,561	158,418	14,143		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	峰 聡明	瀬藤 悦弘	濱 元喜

令和 4年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	3R推進課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	9-1-2 5
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
歳出予算科目	一般会計	9	款	1	項	2	目	
事業名称	発生抑制等推進事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	市債	一般財源	市債	一般財源
令和4年度	24,907	0					24,907
補助事業 単独事業							0
令和3年度	31,046	5,500					25,546
増△減	△ 6,139	△ 5,500	0	0	0	0	△ 639

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	7,347	6,827	7,566
市債+一般財源	7,347	6,827	7,566
決算			
事業費	5,025	5,334	4,578
市債+一般財源	5,025	3,989	4,578

令和5年度	令和6年度	令和7年度
24,907	24,907	24,907
24,907	24,907	24,907

事業概要	環境負荷の低減、脱炭素社会の実現に向け、3Rの中で最優先に取り組みべきリデュース（発生抑制）を推進し、特に食品ロス削減及びワンウェイプラスチックごみの削減を進めます。								
事業開始年度	平成21年度								
根拠法令・方針決裁等	横浜市一般廃棄物処理基本計画、食品ロスの削減の推進に関する法律								
事業目的・効果 (必要性)	<p>ごみ減量のために、分別・再生利用を中心に取り組み、大きな成果をあげてきましたが、人口が増える中、環境負荷を低減するためには、3Rの中でも最優先に取り組みべき「リデュース(発生抑制)」を推進する必要があります。とりわけ「食品ロス削減」や「ワンウェイプラスチックごみの削減」は、SDGsにも掲げられた世界共通の重要課題であり、さらなる取組が求められています。</p> <p>食品ロスの削減の推進に関する法律において、地方公共団体は地域の特性に応じた施策を実施することとされており、引き続き市民・事業者と連携した取組を行い、「食」を大切にすライフスタイルの定着を目指します。食品ロス削減は環境、食育など、様々な切り口から取組を行うことが効果的であり、目標達成に向けて更なる取組を推進します。</p> <p>また、プラスチック問題においても、小売店と連携した取組や出前教室、住民説明会等を実施し、引き続き、ワンウェイプラスチックの削減を推進します。</p>								
根拠・データ等	<p>ごみと資源の総量(単位：トン)</p> <p><総量> 平成30年度：1,194,725 / 令和元年度：1,220,597 / 令和2年度：1,200,410</p> <p><家庭系> 平成30年度：835,445 / 令和元年度：844,235 / 令和2年度：864,876</p>								
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
食品ロス発生量	単位	目標	96,200	92,500	88,800	85,100	81,400	77,700	74,000
	(t)	実績	94,000	93,000					
プラスチック対策啓発回数	単位	目標	180	180	180	180	180	180	180
	回	実績	387	145					
事業スケジュール	<p>平成21年 発生抑制等推進事業開始</p> <p>平成23年 食品ロス削減推進事業開始</p> <p>平成29年 ヨコハマ3R夢プラン推進計画(2018~2021)の策定</p> <p>平成30年 食品ロス削減プロモーション事業開始</p> <p>令和元年 プラスチック対策事業開始</p> <p>食品ロス削減の推進に関する法律の施行、よこはまプラスチック資源循環アクションプログラムの策定、食品ロス削減に関する公民連携の覚書を締結(株式会社クラダシ)</p> <p>令和2年 ペットボトルリサイクル事業の開始(株式会社セブン-イレブン・ジャパン、公益財団法人日本財団)、食品ロス削減に関する公民連携の覚書を締結(株式会社N T T ドコモ)</p>								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	食品ロス削減推進事業	15,995	25,061	▲ 9,066	補助事業終了による減
	②	プラスチック対策事業	8,912	5,985	2,927	キャンペーン実施による増
細事業合計		24,907	31,046	▲ 6,139		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	津島 邦宏	塩谷 洋一	高橋 賢

令和 4年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	街の美化推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	9	款	1	項	2
事業名称	環境事業推進委員等事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	市債	一般財源	市債	一般財源
令和4年度	22,904						22,904
補助事業							0
単独事業							0
令和3年度	20,894						20,894
増△減	2,010	0	0	0	0	0	2,010

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	23,734	22,654	20,281
市債+一般財源	23,734	22,564	20,281
決算			
事業費	23,569	22,059	18,641
市債+一般財源	23,569	22,059	18,641

令和5年度	令和6年度	令和7年度
22,904	22,904	22,904
22,904	22,904	22,904

事業概要	環境事業推進委員を委嘱し、ごみ減量による脱温暖化に向けた3R行動の推進、街の美化や清潔の保持等を図ります。様々な環境行動によるごみの減量化・資源化など「ヨコハマ3R夢」の推進に功労のあった個人又は団体を表彰します。							
事業開始年度	平成5年度							
根拠法令・方針決裁等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例及び同規則 横浜市環境事業推進委員要綱 横浜市環境事業推進委員運営活動費助成要綱 横浜環境行動賞「ヨコハマ3R夢」推進者表彰要綱							
事業目的・効果(必要性)	<p>1 環境事業推進委員事業 環境事業推進委員を委嘱し、ごみ減量による脱温暖化に向けた3R行動の推進、街の美化や清潔の保持等を図ります。各区の環境事業推進委員連絡協議会が中心となり、地域や行政と連携して様々な環境活動に取り組むことにより、環境事業の円滑な運営と清潔できれいな街づくりを推進します。活動費の助成及び情報交換を目的とした連絡協議会等を実施し、環境事業推進委員の円滑な活動を推進することで、市民の生活環境の向上に繋がります。</p> <p>2 横浜環境行動賞「ヨコハマ3R夢」推進者表彰 様々な環境行動によるごみの減量化・資源化など「ヨコハマ3R夢」の推進に功労のあった個人又は団体及び永年環境事業推進委員として活動した人を表彰することにより、環境行政の一層の発展と地域社会への定着に繋がります。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 活動地区数 <実績推移>令和元年度253地区、令和2年度253地区、令和3年度253地区(見込)、令和4年度253地区(見込) 環境事業推進委員数 <実績推移>令和元年度3,968人、令和2年度4,050人、令和3年度4,000人(見込)、令和4年度4,000人(見込) 横浜環境行動賞「ヨコハマ3R夢」推進者表彰 表彰対象数(個人・団体) <実績推移>令和元年度360件、令和2年度201件、令和3年度314件、令和4年度300件(見込) 横浜環境行動賞「ヨコハマ3R夢」推進者表彰 感謝状贈呈対象数 <実績推移>令和元年度56件、令和2年度387件、令和3年度56件、令和4年度400件(見込) 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
環境事業推進委員数	単位	目標	-	-	-	-	-	-
	人	実績	3,968	4,050				
表彰対象数(個人・団体)	単位	目標	-	-	-	-	-	-
	件	実績	360	201	314			
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成5年度 環境事業推進委員事業開始 平成9年度 横浜環境行動賞表彰式開始 							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	環境事業推進委員事業	22,207	20,265	1,942	委嘱準備等に伴う増
②	横浜環境行動賞表彰事業	697	629	68	感謝状贈呈対象者数の増	
細事業合計		22,904	20,894	2,010		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	佐藤 栄次	石原 千晶	三枝木 みどり

令和 4年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	業務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	9-1-2 6
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	9 款	1 項	2 目		
事業名称	資源集団回収促進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	1,059,980	0	0	33	0	1,059,947
補助事業						0
単独事業						0
令和3年度	814,381			44		814,337
増△減	245,599	0	0	△ 11	0	245,610

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	555,066	528,112	590,670	1,059,980	1,059,980	1,059,980
	市債+一般財源	555,022	528,068	590,626	1,059,947	1,059,947	1,059,947
決算	事業費	545,597	595,433	716,589			
	市債+一般財源	545,553	595,414	716,544			

事業概要	安定した古紙・古布の資源化及び、資源集団回収制度の円滑な実施のため、登録団体及び登録業者に対し、奨励金を交付します。また、資源物の持ち去り防止対策を行います。							
事業開始年度	昭和58年度							
根拠法令・方針決裁等	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市資源集団回収要綱 横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例 							
事業目的・効果(必要性)	<ol style="list-style-type: none"> 資源集団回収登録団体及び登録業者に対し、回収量に応じた奨励金を交付します。 対象品目：紙類（新聞、雑誌・その他の紙、段ボール、紙パック）・布類・金属類（食料用・飲料用アルミ缶、食料用・飲料用スチール缶）・びん類 奨励金：登録団体に対して、1キログラムあたり3円 登録業者に対して、各品目別に市況価格の変動等を勘案したキログラムあたりの単価を確定 資源集団回収の更なる充実を目指します。（資源集団回収促進に向けた取組み） 回収場所・回収曜日等の周知を行うとともに、回収の効率化を図るため、登録団体に排出方法等についての啓発を実施します。 資源物の持ち去り防止パトロールを実施します。 期待される効果：地域コミュニティの活性化及び、資源集団回収制度の安定した運用 							
根拠・データ等	年（1月～12月）の回収量合計（t） 平成30年：159,064 t 令和元年：152,855 t 令和2年：150,821 t 令和3年（見込み）：140,812 t 令和4年（見込み）：142,918 t							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
奨励金の交付	単位	目標	適正な交付	適正な交付	適正な交付	適正な交付	適正な交付	適正な交付
	-	実績	達成	達成				
持ち去りパトロール日数	単位	目標	288	283	293	293	293	293
	日	実績	207	283				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 昭和58年：登録団体への物品（リヤカー）助成を開始 昭和63年：助成品目を追加（リヤカー、台車、一輪車、コンテナ） 平成元年：登録団体への定額制奨励金交付を開始 平成2年：登録団体への奨励金を定額制から従量制に変更 平成5年：登録業者への奨励金交付を開始 							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	資源集団回収促進事業	1,047,330	797,350	249,980	市況価格の低迷による奨励金額の増
	②	持ち去り対策事業	12,650	17,031	▲ 4,381	職員数の変更による減
細事業合計			1,059,980	814,381	245,599	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化係
	澤田 亮仁	鈴木 昭則	川畑 敦志

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	一般廃棄物対策課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	9 款	1 項	2 目		
事業名称	許可業者等指導事業					

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	使用料及び手数料	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	430			410	17		3
補助事業							0
単独事業							0
令和3年度	627			1,040	17		△ 430
増△減	△ 197	0	0	△ 630	0	0	433

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	495	747	590	627	718	627
	市債+一般財源	108	△ 290	163	△ 430	291	△ 430
決算	事業費	408	643	431			
	市債+一般財源	△ 142	△ 1,251	△ 551			

事業概要	事業系一般廃棄物処理を行う民間事業者への許認可を所管し、許可更新、変更、新規許可等の申請に対する審査及び許可業者等への指導を行い、一般廃棄物の適正処理を推進します。							
事業開始年度	昭和47年度							
根拠法令・方針決裁等	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市廃棄物の処理及び清掃に関する法律・同法施行令・同法施行規則 横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例・同規則 							
事業目的・効果 (必要性)	一般廃棄物処理業許可業者による事業系ごみの適正処理を推進する。 資源物の分別収集の徹底と民間業者による資源化施設設置等により、事業系ごみの資源化を推進する。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 申請件数(者) <許可更新>令和元年度 102、令和2年度 41、令和3年度 104(見込)、令和4年度 41(見込) 優良事業者認定数(者) <認定/応募>令和元年度 10/18、令和2年度 14/20、令和3年度 20/25(見込)、令和4年度 20/25(見込) 大都市清掃事業協議会 <開催地>令和元年度 熊本市、令和2年度 広島市、令和3年度 神戸市(予定)、令和4年度 札幌市(予定) 							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
一般廃棄物 収集運搬業者数	単位	目標	131	130	130	130	130	130
	者	実績	131	130				
一般廃棄物 処分業者数	単位	目標	14	14	14	14	14	14
	者	実績	14	14				
一般廃棄物 処理施設数	単位	目標	45	47	47	47	47	47
	施設	実績	45	47				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 許可業者等指導：昭和47年度開始 優良事業者認定：平成17年度開始 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	許可業者等指導事業	430	627	▲ 197	搬入確認書廃止に伴う減
	細事業合計	430	627	▲ 197		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	峰 聡明	田中 康平	馬場 隆之

令和 4年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	一般廃棄物対策課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	9	款	1	項	2
事業名称	事業系ごみ適正処理・減量化推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	7,584			13		7,571
補助事業						0
単独事業						0
令和3年度	7,491			12		7,479
増△減	93	0	0	1	0	92

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予	事業費	8,850	9,301	7,986	7,584	7,584	7,584
算	市債+一般財源	8,837	9,287	7,974	7,571	7,571	7,571
決	事業費	8,016	8,538	7,365			
算	市債+一般財源	8,003	8,538	7,352			

事業概要	<p>①事業者から排出される廃棄物の適正処理の推進に向け、中小事業者も含めた排出事業者に対する立入調査を実施します。また、3R活動に取り組み、他の模範となる事業者の表彰、ホームページを活用した取組の紹介を実施します。</p> <p>②本来食べられるにも関わらず廃棄されてしまう「食品ロス」が課題となる中、食品ロス削減の取組を加速するため、外食時の食品ロス削減に向けて「食べきり協力店」事業を展開します。さらに、食品廃棄物の発生抑制や再生利用等について、優れた取組を行っている事業所を「横浜市食の3Rきら星活動賞」として表彰し、市ホームページで紹介します。</p>							
事業開始年度	平成3年度							
根拠法令・方針決裁等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例、食品ロスの削減の推進に関する法律							
事業目的・効果(必要性)	<p>①事業者から排出される事業系廃棄物の適正処理・減量化・資源化を推進します。</p> <p>②本来食べられるにも関わらず廃棄されてしまう「食品ロス」が課題となる中、事業系食品ロス削減を推進します。</p>							
根拠・データ等	<p>事業用大規模建築物件数 平成30年度：2,799、令和元年度：2,789、令和2年度：2,797</p> <p>立入調査・現況調査件数(大規模事業所及び中小事業所の合算) 平成30年度：2,717、令和元年度：2,488、令和2年度：1,785</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
大規模事業所数	単位	目標						
	件	実績	2,789	2,797				
大規模・中小事業所立入調査等件数	単位	目標						
	件	実績	2,488	1,785				
食べきり協力店登録店舗数	単位	目標	879	934	973	998	1,048	1,098
	件	実績	909	948				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 事業用大規模建築物排出指導：平成3年度開始 事業系ごみ全量有料化に伴う中小事業所指導：平成8年度開始 食べきり協力店：モデル事業(平成24年度開始)→全市展開(平成25年度開始) 横浜市食の3Rきら星活動賞：平成29年度開始 							

(単位：千円)

細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
①	排出事業者指導	6,403	6,310	93	人件費の増
②	事業系食品ロス削減	1,181	1,181	0	
細事業合計		7,584	7,491	93	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	峰 聡明	黒川 幸夫	矢井田 慎

令和 4年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	一般廃棄物対策課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	9-1-2 8
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	9 款	1 項	2 目		
事業名称	事業系ごみ適正搬入推進事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	38,800			98		38,702
補助事業 単独事業						0 0
令和3年度	39,915	0		101		39,814
増△減	△ 1,115	0	0	△ 3	0	△ 1,112

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	39,799	39,984	39,731	38,800	38,800	38,800
	市債+一般財源	39,697	39,881	39,630	38,702	38,702	38,702
決算	事業費	39,077	39,246	39,511			
	市債+一般財源	39,002	39,179	39,408			

事業概要	焼却工場において搬入物検査や一般廃棄物処理業者等に対する指導を実施することで、事業系ごみの減量化、資源化及び適正処理を推進します。							
事業開始年度	平成14年度							
根拠法令・方針決裁等	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則 ・横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例、同規則 ・ごみ処理施設搬入事務取扱要綱、ごみ処理施設搬入物検査等実施要領 など 							
事業目的・効果 (必要性)	<p>横浜市一般廃棄物処理基本計画では、ごみと資源の総量を令和7年度までに平成21年度比で10%以上削減することを計画目標としており、事業系ごみの資源化及び減量化を推進していく必要があります。</p> <p>併せて、同計画においては収集・運搬、処理・処分の全ての段階で、安心と安全・安定を追求するとしており、焼却工場に不燃物等の焼却不適物の搬入を抑制することで事業系ごみの適正処理を推進していく必要があります。</p> <p>本事業では、市内4つの焼却工場に搬入物検査員を配置し、常時搬入物検査を実施するとともに一般廃棄物処理業者等に対する指導を実施することによって、焼却工場への不適正搬入を抑制していきます。</p> <p>その結果、事業系ごみの資源化、減量化及び適正処理並びに焼却工場の安定稼働の確保が期待されます。</p>							
根拠・データ等	<p>検査台数 平成30年度：192,719台、令和元年度：188,542台、令和2年度：178,761台</p> <p>文書指導件数 平成30年度：2件、令和元年度：0件、令和2年度：0件</p> <p>事業系ごみ量【平成21年度：318,429t】</p> <p>平成30年度：301,053t (平成21年度比△5%)</p> <p>令和元年度：309,066t (平成21年度比△3%)</p> <p>令和2年度：270,434t (平成21年度比△15%)</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
検査率	単位	目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	%	実績	91.7	95.2				
展開検査率	単位	目標	5.3	5.5	5.6	5.6	5.6	5.6
	%	実績	5.5	5.6				
持ち帰り 指導件数	単位	目標	-	-	-	-	-	-
	件	実績	7	14				
事業スケジュール	<p>平成7年2月 ごみ処理施設搬入物検査等実施要領の制定</p> <p>平成15年12月 産業廃棄物である木くずや資源化可能な古紙等の焼却工場への搬入停止</p> <p>平成16年4月 搬入物検査員の配置</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	事業系ごみ適正搬入推進事業	38,800	39,915	▲ 1,115	人件費の減
細事業合計		38,800	39,915	▲ 1,115		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	峰 聡明	田中 康平	山之内 孝

令和 4年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	施設課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	9-1-2 10
事業区分	■ 施設等整備費 <input type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	一般会計	9 款	1 項	2 目		
事業名称	資源化施設基幹改修事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県			市債	一般財源
令和4年度	72,865						72,865
補助事業 単独事業							0 0
令和3年度	80,865						80,865
増△減	△ 8,000	0	0	0	0	0	△ 8,000

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
				事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計
事業費	46,902	93,462	80,970	72,865	72,865	72,865	72,865	72,865	72,865	72,865	72,865	
市債+一般財源	46,902	93,462	80,970	72,865	72,865	72,865	72,865	72,865	72,865	72,865	72,865	
事業費	92,778	95,220	66,029									
市債+一般財源	92,778	95,220	66,029									

事業概要	資源選別施設は、いずれも整備から約20～30年を経過しており、施設を安定的に稼働させるために主要設備等の維持修繕等を計画的に実施します。							
事業開始年度	平成12年度							
根拠法令・方針決裁等	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例							
事業目的・効果 (必要性)	資源物である缶・びん・ペットボトルの選別処理を行う資源選別施設については、施設の経年劣化に伴いプラント等主要設備も補修時期にきています。当該施設を安定的に稼働させることで、資源物が適正に処理され、再資源化等に繋がるほか、市民の生活環境等を良好に維持することにもなります。							
根拠・データ等	<p>【鶴見資源選別センター（所在地：鶴見区末広町1-15-1）】 【竣工】平成7年9月【処理能力】不燃性粗大ごみ：100t/5h、可燃性粗大ごみ：150t/2基、資源物：50t/5h（2系列） 【主要設備】粗大施設：回転式破砕機、せん断式破砕機2基 選別施設：破袋機、選別機、圧縮機4基、手選別コンベヤ3基</p> <p>【金沢資源選別センター（所在地：金沢区幸浦2-7-1）】 【竣工】平成14年3月【処理能力】資源物：30t/5h（1系列） 【主要設備】破袋機、手選別コンベヤ2基、圧縮機4基、分離機、磁選機、アルミ選別機、トロンメル選別機</p> <p>【緑資源選別センター（所在地：緑区上山1-3-1）】 ■A棟【竣工】平成5年3月【処理能力】資源物：25t/5h(2系列) 【主要設備】破袋機2基、分離機2基、磁選機3基、アルミ選別機、手選別コンベヤ2基、圧縮機4基 ■B棟【竣工】平成10年3月【処理能力】資源物：35t/5h(2系列) 【主要設備】破袋機2基、分離機2基、磁選機3基、アルミ選別機、トロンメル選別機、手選別コンベヤ2基、圧縮機4基</p> <p>【戸塚資源選別センター（戸塚区上矢部町1921-12）】 【竣工】平成7年6月【処理能力】資源物：60t/5h(2系列) 【主要設備】破袋機2基、分離機4基、磁選機3基、アルミ選別機、手選別コンベヤ2基、振動ふるい、圧縮機5基</p>							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
処理量の合計	単位	目標	53,663	53,213	53,213	53,213	53,213	53,213
	時間	実績	52,882	57,333				
工事件数	単位	目標	3	4	2	1	4	4
	件	実績	3	7				
稼働のべ日数	単位	目標	2,170	2,170	2,170	2,170	2,170	2,163
	日	実績	2,199	2,241				
事業スケジュール	令和元年度：鶴見資源選別センター消防設備更新工事、鶴見資源選別センターペットボトル減容機更新、 緑資源選別センターA棟消防用設備等更新工事 令和2年度：鶴見資源選別センター破砕機補修工事、金沢資源選別センター資源物処理設備補修工事、 金沢資源選別センター消防用設備更新工事、緑資源選別センター通信情報設備更新工事、 緑資源選別センター消防用設備更新工事、緑資源選別センターほか2か所選別設備改良工事、 戸塚資源選別センター高圧気中開閉器更新工事 令和3年度：鶴見資源選別センター粗大ごみ処理設備補修工事、鶴見資源選別センター空調機更新工事							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	4年度	3年度	差引(増減)	増減説明
	①	資源化施設基幹改修事業	72,865	80,865	▲ 8,000
	細事業合計	72,865	80,865	▲ 8,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 生井 秀一	係長 佐久間 徹也	管理 山田 幸恵
--------------------	-------------	--------------	-------------

令和 4 年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	政策調整課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費	<input checked="" type="checkbox"/> その他				
歳出予算科目	一般会計	9 款	1 項	2 目		
事業名称	国際協力事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県			市債	一般財源
令和4年度	3,437						3,437
補助事業							0
単独事業							0
令和3年度	3,819						3,819
増△減	△ 382	0	0	0	0	0	△ 382

歳出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算 事業費	7,031	8,076	5,907	3,437	3,437	3,437
市債＋一般財源	7,031	8,076	5,907	3,437	3,437	3,437
決算 事業費	6,980	2,777	2,087			
市債＋一般財源	6,980	2,777	2,087			

事業概要	Y-PORT事業・アフリカのきれいな街プラットフォーム（ACCP）を軸に、関係機関と連携しながら国際技術協力を進めます。公民連携によるビジネス展開を支援するため、市内企業との情報・意見交換を行うほか、海外からの視察・研修の受入れ、国際会議等での横浜の廃棄物処理・資源化の取組の積極的発信、海外の廃棄物に関する事例の調査等を進めます。							
事業開始年度	平成29年度							
根拠法令・方針決裁等								
事業目的・効果（必要性）	世界では、急激な都市化に伴う廃棄物の急増に、廃棄物の処理が追いつかず、街の衛生状態の悪化や不適切な処理による環境汚染など、廃棄物に関する課題を抱えている国・都市が多く存在します。横浜市は、大幅なごみの減量を実現したこれまでの廃棄物管理の知見や、取組が評価されており、横浜市の事例から学びたい諸都市から、研修や視察の要望が寄せられています。海外諸都市における廃棄物に関する課題解決に貢献することで、国際社会における横浜のプレゼンスの向上を図ります。							
根拠・データ等	海外諸都市からの視察・研修の受入れ（中期計画政策4 施策1：海外諸都市等との連携・協力の推進） 平成29年度 29件（517人）、平成30年度 31件（363人）、令和元年度 31件（625人）、令和2年度（オンラインによる研修のみ） 5件（99人）							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
海外都市からの視察・研修受入れ	単位	目標	30	30	30	30	30	30
	件	実績	31	5				
国際会議におけるプレゼンテーション等の実施	単位	目標	5	5	5	1	1	1
	件	実績	1	0				
職員の現地派遣	単位	目標	6	6	5	5	5	5
	件	実績	4	0				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> Y-PORT事業 <ul style="list-style-type: none"> 平成29年～令和2年 ベトナム国ダナン市におけるJICA草の根技術協力事業（第1期） 令和3年～令和6年 ベトナム国ダナン市におけるJICA草の根技術協力事業（第2期） アフリカのきれいな街プラットフォーム（ACCP） <ul style="list-style-type: none"> 平成29年 ACCP設立 平成30年 第1回全体会合（モロッコ） 令和元年度 第2回全体会合（横浜） 令和4年 第3回全体会合（チュニジア）（予定） 平成29年度から、アフリカの行政官を対象とした廃棄物管理を毎年実施（年2回程度）							

(単位：千円)

細事業（事業内訳）	細事業名称		4年度	3年度	差引（増減）	増減説明
	①	国際協力事業		3,437	3,819	▲ 382
	細事業合計		3,437	3,819	▲ 382	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	近 和行	田村 彰	石田 環